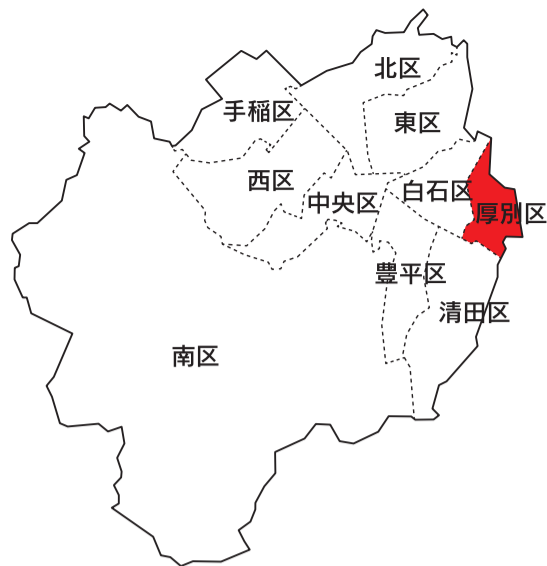


厚別区



厚別区マスコットキャラクター：ピカコットくん

給食で「地産地消」を学ぶ

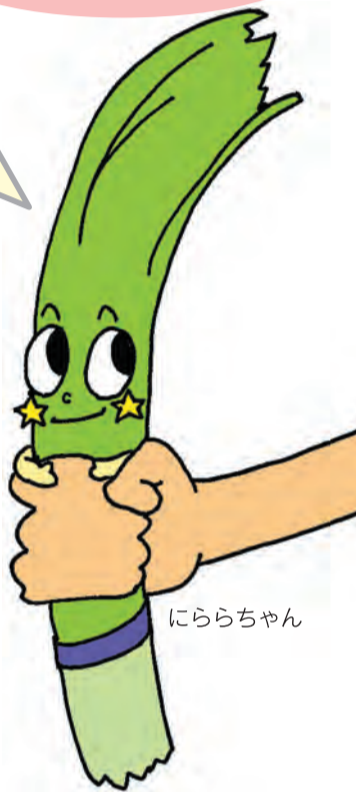
厚別産の「にら」を使用した「厚別スタミナ丼」

厚別区の小中学校では、「厚別スタミナ丼」や「スンドゥブチゲ」など地元厚別の「にら」を使用した給食を年に数回実施しています。

子どもたちは、栄養教諭・栄養士が作成した資料によって、「にら」の栄養や生育について学び、給食で新鮮な「にら」を味わうことで「地産地消」のよさをより深く理解できています。

また、生産者のメッセージを子どもたちに伝えることで子どもと生産者を繋ぐ大切な役割も果たしています。

平成24年度から継続しています。



にらちゃん

厚別ブロック考案メニュー①「厚別スタミナ丼」



農家さんからのメッセージ

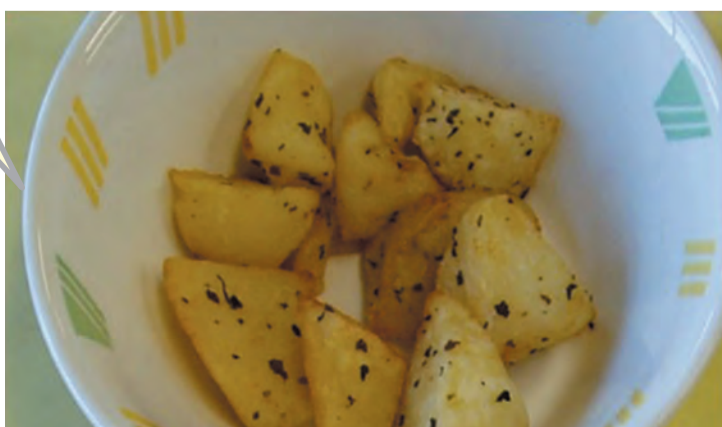
「にら」が傷まないようにていねいに刈り取っています。



厚別近郊の道産野菜を取り入れる工夫

厚別区では、「にら」以外にもJAさっぽろの協力を頂き、江別産のじゃがいもやほうれん草など道産野菜を豊富に取り入れた給食を提供しています。子どもたちは、おいしく、楽しく給食を味わいながら、「地産地消」について学んでいます。

継続的に「地産地消」についての指導を続けることによって、子どもたちからは、「地元のものは安全でおいしい。」「地産地消を応援している気持ちになれた。」という声も聞かれ、知識の定着にも繋がっています。



厚別ブロック考案メニュー②「バジルポテト」

地産地消とは

～おさらい～



地元で生産されたものを

(自分の住んでいるところで作られたものを)

地元で消費すること

(自分たちで食べること)